

都市再生整備計画(第4回変更)

ね や が わ し え き ひ が し
寝屋川市駅東地区

お お さ か ふ ね や が わ し
大阪府 寝屋川市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	寝屋川市	地区名	寝屋川市駅東地区	面積	24.2 ha
計画期間	平成20年度～平成24年度	交付期間	平成20年度～平成24年度				

目標
大目標：潤い(にぎわい・景観・緑)とやすらぎ(安全・安心)の協創により、市民文化に支えられた都市環境を再生する。 目標1：市の中心核において生活・文化・交流の拠点を整備し、地域の活性化を図る。 目標2：市民の文化的活動が生み出され育まれる場を創造し、まちのにぎわいの創出を図る。 目標3：交通アクセス性の強化と防災性能の向上、歩行者空間のバリアフリー化を推進する。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
・寝屋川市駅東地区は、市を縦断する京阪本線の寝屋川市駅東側に位置し、駅の乗降客数においては1日当り約7万人あり、駅周辺には低層の木造住宅地が広がる地域である。 ・この地域の一部は、都市再生本部による都市再生緊急整備地域に第一次指定(平成14年7月)され、密集市街地の再生を図り、生活・文化・交流の拠点を形成することが目標とされている。市の総合計画においても、本市の中心核の形成を図るため、水と緑と文化性を備えた、商業・業務の拠点としてのまちづくりを進めることとし、まちづくりを進めているところである。 ・駅周辺のまちづくりにおいては、昭和61年に駅前市街地再開発事業が完成、平成13年度には連立事業によって、京阪本線の寝屋川市駅付近が高架化されたことに合わせて、まちづくり総合支援事業を活用して東西にある駅前広場を再整備し、交通結節点機能の強化を図っている。 ・駅西側に隣接する、一級河川の寝屋川においては、公募市民による寝屋川再生ワークショップからの提案を基にした親水公園(寝屋川せせらぎ公園)を整備した。(平成17年5月) ・平成19年度は、東側駅前広場の東側付近において、寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業の施行認可がなされたところである。この再開発事業の中で、地域交流センター及び都市計画道路寝屋川駅前線(未整備区間600mのうち幅員32m、延長250m区間)の整備を行うこととしている。 ・地域交流センターについては、平成15年度に実施した市民へのアンケート調査の結果では、「センターが建てられたら利用したいと思う」が90%以上であり、平成16年12月、市民文化団体代表者等による「寝屋川市駅東地区ホール計画検討委員会」から「音楽を主体とした多目的ホールの建設」が提言されている。 ・都市計画道路寝屋川駅前線については、平成16年度に、公募市民(28名)による明日の寝屋川市駅周辺まちづくり市民ワークショップを4回行い、沿道整備のあり方について検討を行った。この報告における整備イメージを踏まえた景観形成について、平成19年度市民との協働による検討(計3回30名)を行い、平成19年度の実施設計に反映していくこととしている。 ・平成17年度には、都市再生モデル調査を実施し、ゲーム・CGを活用したまちづくりをテーマとして、大学連携によるまちづくりの検討を行った。 ・また、平成17年2月に、市立中央小学校で起きた事件を契機に、学校安全対策の充実、また周辺地域における子どもの安全見守り隊が組織されるなど、市民との協働により、まちの安全・安心を確保しようとする機運が醸成されているところである。 ・平成17年4月には、地域活性化を目的とした、市の地域情報を網羅したポータルサイト「ねやがわ元気ねっと」が開設された。 ・(仮称)駅前図書館については、かねてより「図書館活動に関わる市民団体」等からの要望があり、かつ平成20年に実施した市民へのアンケート調査の結果では、「社会教育(図書館など)の取り組みに対する満足度」が15.7%と低位であり、さらなる図書館の充実が必要不可欠である。なお、平成20年11月に寝屋川市駅に比較的近い市民会館内東図書館に子ども図書室を増床設置する等して対応している。
課題
・寝屋川市駅周辺の地域は、高度経済成長期において乱開発された低層の木造住宅が密集するとともに、狭隘な道路による脆弱な駅周辺の交通は、歩行者等の安全な交通、防災性などに対して、懸念されている。 ・市民の多様な文化活動・交流の場として、音楽を主体とした多目的ホール等の整備が求められている。 ・都市計画道路寝屋川駅前線については、交通の円滑化を図るとともに、寝屋川市の玄関口としてシンボリックな道路となるよう、適切な歩行者等の空間を確保し、緑化や景観、防災機能等を考慮した整備を行い、道路沿道や地域周辺の良好なまちづくりを図れるようにすることが必要である。 ・市民の生涯学習への支援、交流の場づくりをより一層活性化するため、市域で最も利便性の高い寝屋川市駅前への図書館の開設が求められている。
将来ビジョン(中長期)
・都市再生本部において都市再生緊急整備地域として決定(H14.7.24)された、寝屋川市駅東地区(面積約11ha)を含んだ計画区域としており、この都市再生緊急整備地域の地域整備方針においては、生活・文化・交流の拠点を形成することを目標とし、都市開発事業を通じて、居住機能に加えて、情報系の大学と連携した教育・文化機能等の複合的な都市機能を集積することとしている。また、駅へのアクセス性の向上や隣接する密集市街地の防災性の向上を図るため、都市計画道路寝屋川駅前線の整備を行うこととしている。 ・第四次寝屋川市総合計画及び都市計画マスタープランにおいては、本市の中心核の形成を図るため、水と緑と文化性を備えた、商業・業務の拠点としてのまちづくりを進めることとしている。 ・都市計画マスタープラン及び都市再開発方針においては、シンボリック性の高い都市景観の形成を進めるとともに、都市環境の向上を図ることとしている。 ・市域内の鉄道4駅周辺整備構想においては、寝屋川市のメインストリートとして、交通機能だけでなく、寝屋川市の顔としての景観軸、イベントの場などの機能を位置づけている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
文化イベント開催数	回／年	文化イベントの区域内年間開催数	市民が憩い交流することの出来る文化活動の場を提供することの指標とする。	373	18年度	450	24年度
景色・景観の満足度	%	駅周辺通行者の満足度	駅東地区整備による景色や景観の美しさに対する市民の満足度を表す指標とする。	24	19年度	40	24年度
緑の満足度	%	駅周辺通行者の満足度	駅東地区整備による緑の豊かさに対する市民の満足度を表す指標とする。	17	19年度	30	24年度
安全・安心の満足度	%	駅周辺通行者の満足度	駅東地区整備による安全・安心に対する市民の満足度を表す指標とする。	18	19年度	30	24年度
地区内通行者数	人・台／8時間	地区内の自転車・歩行者通行者数	寝屋川市の中心核として賑わい、活性化を表す指標とする。	11,300	19年度	11,900	24年度
図書館利用者数	人／年	年間に貸出しを受けた人の述べ人数	市民が読書・情報収集を通じて学び、文化的活動や交流する場としてを提供することの指標とする。	219,207	18年度	246,393	24年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
●整備方針1(市の中心核において生活・文化・交流の拠点を整備し、地域の活性化を図る。) ・寝屋川市駅東側にて実施する寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業において、生活・文化・交流の拠点となる、地域交流センターを整備する。 ・都市計画道路寝屋川駅前線については、市の玄関口におけるシンボリックな道路で、市民との協働を進める場となるような整備を行い、地域の活性化を図るため、植栽や景観にも配慮した歩行者空間を確保するように整備する。 ・寝屋川市駅周辺における状況や情報が分かりやすく、各公共施設等への円滑な移動が出来、利便性の向上を図る為、情報案内の充実を図る。 ・市民の生涯学習への支援、交流の場づくりを図り、市駅前商業施設及び駅周辺のにぎわいを創出するため、(仮称)駅前図書館を整備する。	【基幹事業】 ○高次都市施設<地域交流センター><地域交流センター駐輪場> 【関連事業】 ○寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業<寝屋川市駅東地区> 【関連事業】 ○寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業<寝屋川市駅東地区> 【基幹事業】 ○高質空間形成施設 <街路グレードアップ・景観形成事業(再開発事業区域内:幅員32m、延長250m)> 【基幹事業】 ○高質空間形成施設 <景観形成事業・(市)太秦黒原線> 【基幹事業】 ○地域生活基盤施設 <情報板設置事業> 【提案事業】 ○事業活用調査<事業効果分析> 【提案事業】 ○地域創造支援事業<図書館>
●整備方針2(市民の文化的活動が生み出され育まれる場を創造し、まちのにぎわい創出を図る。) ・道路整備だけでなく、その沿道の魅力や活力を創出することが重要であるため、沿道のにぎわいを創出するための方策を検討し、今後のまちづくりに活用できる構想を策定する。 ・地域交流センターを活用して、文化活動の推進や育成を行うことにより、市全体の文化・芸術・音楽などの更なる向上と振興を図り、さらに様々な文化活動との交流・連携を深めることにより、まちのにぎわいの創出を図る。 ・学校との連携により、文化創造活動の充実を図り、また大学の持つノウハウをまちづくりに活用し、新たな地域情報や文化情報などを発信する取り組みを行い、まちのにぎわいの創出を図る。また、将来の担い手の育成を図る。 ・地元事業者との連携を推進することにより、まちづくりへの参画促進や意識向上を図り、まちの賑わいや魅力づくりを行う。 ・再開発事業後の新しいまちの完成を市民に広く周知するとともに、周辺のにぎわいを創出し、今後の協創のまちづくりへの機運を醸成する。 ・(仮称)駅前図書館を活用して、市民が求める資料・情報を提供するとともに、市民が子育て情報やギャラリー鑑賞等を通じて交流することにより、まちのにぎわいを創出する。	【提案事業】 ○事業活用調査 (構想策定)<沿道にぎわい創出構想策定(寝屋川街道のゆとり・うるおい・魅力・活力創出にむけて)> 【提案事業】 ○まちづくり活動推進事業(文化振興事業)<地域交流センター柿落とし> <文化のまちづくり> <小学校図工作品展、中学校美術展> 【提案事業】 ○まちづくり活動推進事業(にぎわい創出事業)<CGを活用したまちのプロモーション> <まちなか回遊イベント> <まちびらきイベント> 【提案事業】 ○事業活用調査<事業効果分析> 【提案事業】 ○地域創造支援事業<図書館>
●整備方針3(交通アクセス性の強化と防災性能の向上、歩行者空間のバリアフリー化を推進する。) ・各公共施設等へ安心して円滑な移動が出来るように、安全性・利便性の向上を図る為、情報案内の充実を図る。 ・密集市街地である当地区において、寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業により地域交流センターや都市計画道路寝屋川駅前線を整備するとともに、都市計画道路寝屋川駅前線における歩行空間の一部を活用した災害時に対応する施設の整備を行うなど、地域の防災機能の向上を図る。 ・都市計画道路寝屋川駅前線における歩行者空間を活用して、防災・防犯に対する市民の意識向上を図るため、市民との協働による活動を推進する。	【基幹事業】 ○地域生活基盤施設<情報板設置事業> 【基幹事業】 ○地域生活基盤施設(安全・安心創出事業)<災害時における空間活用(街角防災スペース)> 【基幹事業】 ○高次都市施設<地域交流センター> 【関連事業】 ○寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業<寝屋川市駅東地区> 【関連事業】 ○寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業<寝屋川市駅東地区> 【関連事業】 ○安全安心創出事業<防犯グッズの展示・販売／ひったくり防止キャンペーンの実施> 【提案事業】 ○事業活用調査<事業効果分析>

その他

○今回の計画区域は、平成14年7月24日に都市再生本部により指定された都市再生緊急整備地域を含んだ区域で、本計画を第1期の都市再生整備計画として、寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業と関連した事業展開を行っている。このため、市の玄関口におけるシンボリックな道路として整備する都市計画道路寝屋川駅前線については、寝屋川市駅東側駅前広場から幹線道路である国道170号(大阪外環状線)までの延長約600mのうち、約250mを整備することとし、この区間において、各種、提案事業等を進めることとしている。今後、残る区間約350mにおける事業化については、第2期の都市再生整備計画において引続き地区のまちづくりに関する事業等を加えて進めることとしており、継続的なまちづくりの推進を図る。

○市民や学校、周辺事業者、NPO等との連携については、整備計画の完了後においても、今回の事業を契機として、継続的な活動が図られるようにする。

交付対象事業費	3,231	交付限度額	1,425.6	国費率	0.441
---------	-------	-------	---------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

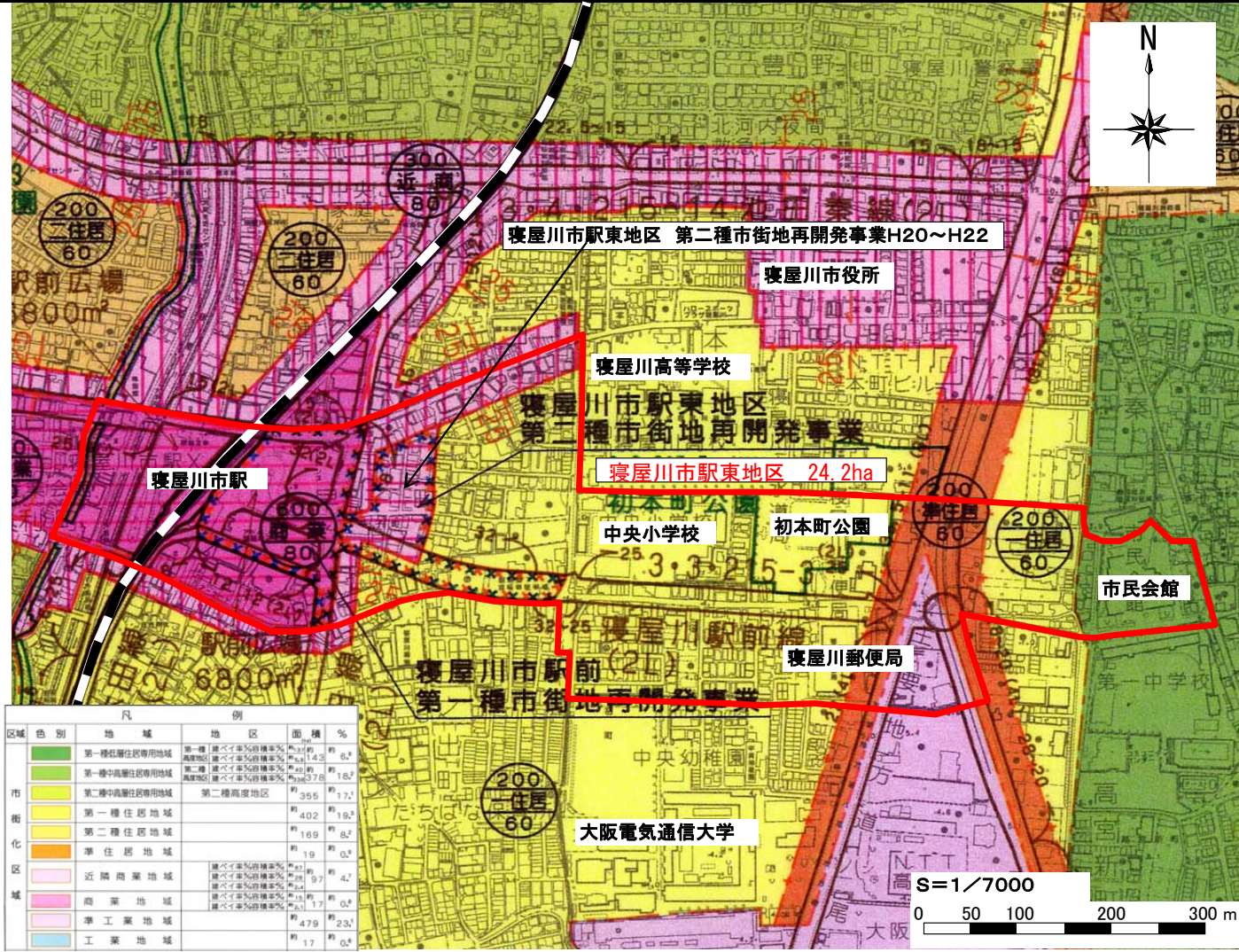
...A

...B

合計(A+B)	3,231
---------	-------

都市再生整備計画の区域

寝屋川市駅東地区(大阪府寝屋川市)	面積	24.2 ha	区域	東大利町の一部、早子町の一部、日之出町の一部、初町の一部、秦町の一部、高宮栄町の一部、高宮新町の一部、桜木町の一部、八坂町の一部、本町の一部
-------------------	----	---------	----	--

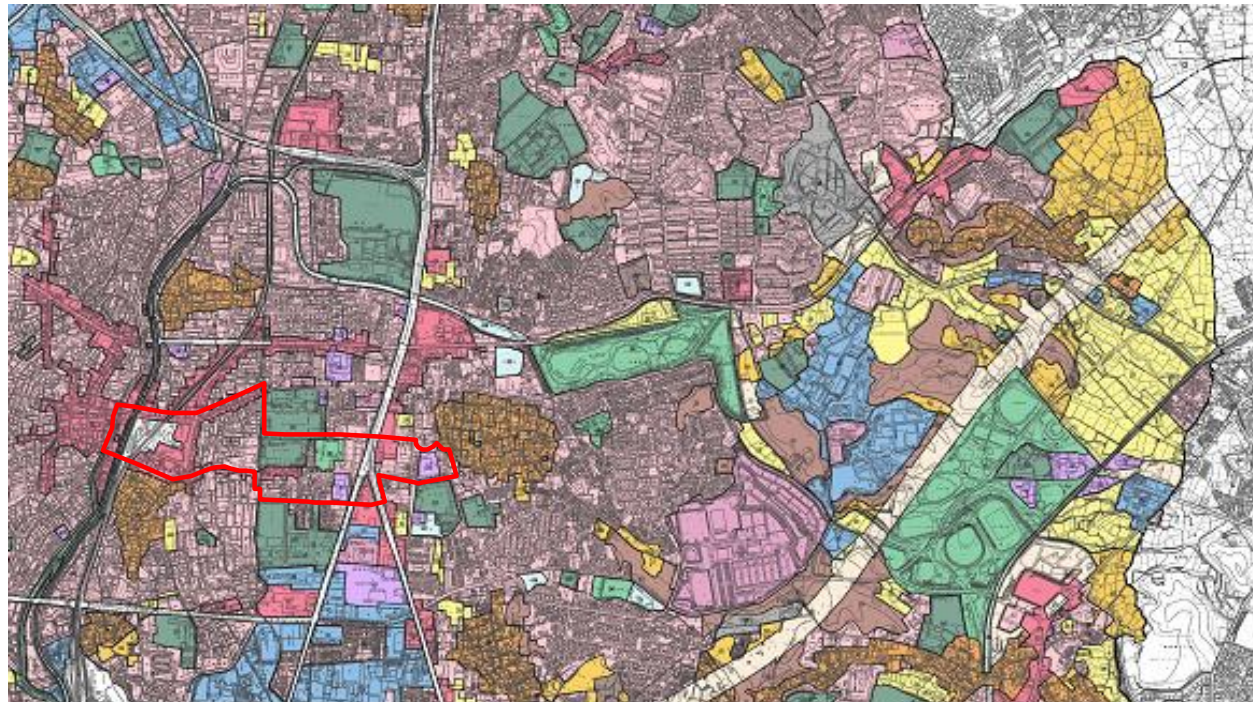


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

ねやがわし えき ひがし ちく 寝屋川市駅東地区 おおさか ふ（大阪府寝屋川市）ねやがわし

寝屋川市駅東地区(大阪府寝屋川市) 現況図



土地利用現況

分類

- 13:一般市街地
- 15:商業業務地
- 12:官公署
- 33:工場地
- 04:集落地
- 06:公園・緑地
- 05:運動場・遊園地
- 07:学校
- 22:社寺敷地・公開庭園
- 24:墓地
- 28:田・休耕地
- 03:畑
- 21:山林
- 20:原野・牧野
- 08:水面
- 37:低湿地・荒蕪地
- 11:公共施設
- 00:道路・鉄軌道敷
- 17:その他の空地



S=1/25,000

0 0.2Km 0.4Km 0.6Km 0.8Km 1Km

交付限度額算定表(その1)

寝屋川市駅東地区 (大阪府寝屋川市)

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	1,425.6 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	8,079.0 百万円	X≦Yゆえ、本計画における交付限度額	1,425.6 百万円
----------------------	-------------	-----------------------	-------------	--------------------	-------------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	108,900 m ²
----	------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	242,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	0.50
○	0.45
	0.40

Cl	286,000 円/m ²
----	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	
公示価格の平均値(円/m ²)	286,000

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
----	-------------------------

控除額	499 百万円
-----	---------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
住宅、店舗(再開発事業)	2,633	189
駐車場(再開発事業)	3,525	282
教育文化(再開発事業)	4,722	28
合計	10,880	499

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	基幹事業(A)	2,805 百万円
	提案事業(B)	426 百万円
	合計	3,231 百万円

Ap	75249 m ²
----	----------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

○ 個別公共施設の積み上げ	
---------------	--

	面積(m ²)	割合
道路	62,951	0.26
公園	10,278	0.04
広場	0	0
緑地	2,020	0.01
公共施設合計	75,249	0.31

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	4949 百万円
----------------------	----------

ΣCn	6,260,400,000 円
-----	-----------------

下水道	0 円
区域面積(m ²)	242,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

○ 地域交流センター等の公益施設(建築物)	6,260,400,000 円
上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	666,000

調整池	0 円
調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0
標準整備費(円/戸)	超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000 33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000 30,990,000
	特別地区	49,120,000 35,690,000
	大都市地区	37,170,000 30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000 32,370,000
	奄美地区	39,520,000 35,640,000
	沖縄地区	30,280,000 30,280,000
	一般地区	33,700,000 28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
------	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	8079 百万円
---------------------	----------

[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	2,585
[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	3,117
交付限度額(X)		1,425.6 百万円

- 交付要綱第5 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 4)式の適用の場合、経過措置の適用

交付限度額算定表(その2)

寝屋川市駅東地区 (大阪府寝屋川市)

交付要綱第5に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位) 単位: 百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	2,805.000	A (事業費)	1) 式で求まる額(4/10*(A+B))	1,292.360	① (国費)
	提案事業合計(B)	425.900	B (事業費)	2) 式で求まる額(5/9*A)	1,558.333	② (国費)
	合計(A+B)	3,230.900	(事業費)	上記①、②の小さい方	1,292.360	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.132		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3) 式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒ 3) 式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行	○	(選択)	3) 式の適用後(適用がある場合は3式反映)	1,292.360	⑥ (国費)
・4) 式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)	3) 式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4) 式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')	2,666.000	A' (事業費)	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	1,425.660	⑧ (国費)
	補正予算の執行額	140.000	(国費)	執行額を足した額	1,432.360	⑨ (国費)
				補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	1,425.660	⑩ (国費)
				補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.441	⑪ (国費率)

4) 式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.441	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)			
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒ 適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)	適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)	4) 式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4) 式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	1,425.660	⑯ (国費)
--------------	-----------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	3,230.9	(事業費)	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	1,425.6	⑰ (国費)
			国費率	0.441	⑱ (国費率)

(参考) 年次計画

寝屋川市駅東地区（大阪府寝屋川市）

(事業費:百万円)

基幹事業									
事業	事業箇所名		事業主体	交付対象 事業費	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	事業	細項目							
道路									
公園									
古都及び緑地保全事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設		(都)寝屋川駅前線	市	13				13	
高質空間形成施設		(都)寝屋川駅前線、(市)太秦黒原線	市	119			109	10	
高次都市施設		地域交流センター(駐輪場含む) (寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業)	市	2,673	653.5	304.0	1,715.5		
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				2,805.0	653.5	304.0	1,824.5	23.0	0.0

提案事業									
事業	事業箇所名		事業主体	交付対象 事業費	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	事業	細項目							
地域創造 支援事業	図書館	図書館	市	360.0					360.0
事業活用 調査	事業効果分析	寝屋川市駅東地区	市	4.0					4.0
	構想策定	寝屋川市駅東地区	市	4.2	4.2				
まちづくり活 動推進事業	文化振興事業	寝屋川市駅東地区	市	28.5		5.0	4.0	16.5	3.0
	にぎわい創出事業	寝屋川市駅東地区	市	29.2		2.8	1.9	14.5	10.0
計				425.9	4.2	7.8	5.9	31.0	377.0
合計				3,231	657.7	311.8	1,830.4	54.0	377.0
累計進捗率（％）					20.4%	30.0%	86.7%	88.3%	100.0%

(平成20年度補正予算(第2号)関連地区)交付対象事業等一覧表(計算用シート)

交付対象事業費	3,231	第5におけるAの値をおきかえて第5により算出された額(X1)	1,425.7	交付限度額(左記のうちいずれか少ない額)	1,425.6
2次補正執行額	140	交付要綱第5の交付限度額に補正予算執行額を加えた額(X2)	1,432.4	国費率	0.441

(金額の単位は百万円)

基幹事業

(平成20年度補正予算(第2号)関連)地域における防災機能の向上に資する公共公益施設の整備に該当する事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
地域生活基盤施設		(都)寝屋川駅前線	市	直		H23	H23	H23	H23	5	5	5	5
高次都市施設		地域交流センター	市	直		H20	H22	H20	H22	2661	2661	2661	2661
													0
													0
													0
合計										2,666	2,666	2,666	0

基幹事業のうち、上記に該当しない事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
道路													
公園													
河川													
下水道													
駐車場有効利用システム		—			—								
地域生活基盤施設		—	市	直	—	H23	H23	H23	H23	8	8	8	8
高質空間形成施設		—	市	直	—	H22	H23	H22	H23	119	119	119	119
高次都市施設		—	市	直	—	H22	H22	H22	H22	12	12	12	12
既存建造物活用事業		—			—								
土地区画整理事業													
市街地再開発事業													
住宅街区整備事業													
地区再開発事業													
バリアフリー環境整備促進事業													
優良建築物等整備事業													
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型												
	沿道等整備型												
	密集住宅市街地整備型												
	耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業													
住宅地区改良事業等													
都心共同住宅供給事業													
公営住宅等整備													
都市再生住宅等整備													
防災街区整備事業													
合計										139	139	139	0

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	図書館	図書館	市	直	—	H24	H24	H24	H24	360.0	360.0	360.0	360.0
													0
事業活用調査	事業効果分析	—	市	直	—	H24	H24	H24	H24	4.0	4.0	4.0	4.0
	構想策定	—	市	直	—	H20	H20	H20	H20	4.2	4.2	4.2	4.2
まちづくり活動推進事業	文化振興事業	—	市	直	—	H21	H24	H21	H24	28.5	28.5	28.5	28.5
	にぎわい創出事業	—	市	直	—	H21	H24	H21	H24	29.2	29.2	29.2	29.2
合計										425.9	425.9	425.9	0.0

合計(A+B) 3,231

(平成20年度補正予算(第2号関連))地域における防災機能の向上に資する公共公益施設の整備に該当する事業

(単位:百万円)

基幹事業名	事業箇所	当該施設が担う地域防災上の機能の概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付期間内事業費
					開始年度	完了年度	
地域生活基盤施設	安全・安心創出事業	都市計画道路寝屋川駅前線は、都市の密集地域にあって、潤い(にぎわい・景観・緑)の空間であるとともに、貴重な防災空間であることから、歩道空間の一部を「街角防災スペース」として防災施設の整備を行い、災害時における活用と市民の防災意識の醸成を図る。	市		H23	H23	5
高次都市施設	地域交流センター	都市再生緊急整備地域(H14.7.24決定)であり狭隘な道路や密集市街地が存在する計画区域において、寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業により新たな公共公益施設を設置することで、都市施設を更新し、地域の防災性の向上を図ることができる。	市		H20	H22	2661

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(單位: 百万円)

事業名	事業概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付期間内事業費				事業費の主な使途概要		その他	
				開始年度	完了年度		うち調査費	うち用地費	うち整備費	うち購入費			
事業活用調査/事業効果分析	■事業効果分析 ○事業の成果を住民にわかりやすく説明すること、交付金もたらした成果等を客観的に診断して、今後のまちづくりを適切な方向で実施することを目的としている。 ○本計画の目標の達成状況等について評価を行うことで、効果の測定、まちづくりの進捗状況や今後の展開などに反映させるための検証を行う。	市		H24	H24	4.0	4.0				・事業効果分析調査経費		
事業活用調査/構想策定	■寝屋川駅前線沿道にぎわい創出構想策定（寝屋川駅前線のゆとり・うるおい・魅力・活力創出にむけて） ○都市計画道路寝屋川駅前線は、寝屋川市の中心部にある主要な交通網であり、寝屋川市のシンボルロード（幅員25m～32m）である。街路整備だけでなく、沿道の魅力や活力を創出することが必要であるため、にぎわいを創出する方策を検討し、今後のまちづくりに活用できる構想を策定する。	市		H20	H20	4.2	4.2				・構想策定調査経費		
まちづくり活動推進事業/文化振興事業	■地域交流センター特選とし公演およびオープニング記念イベント ○新しい市民の文化活動、交流活動の場としての地域交流センターが完成したことを市民に広く周知するとともに、センターを文化発信拠点として市民文化の創造・交流に生かす。 ・ゴスペルグループと市民有志のコラボレーションによるコンサートや市民参加によるミュージックデーの開催。 ・市民団体によるふるさと寝屋川をわかりやすく伝える創作人形劇の上演 等。	市		H21	H24	28.5	28.5				・コンサート開催経費		
	■文化のまちづくり ○市文化振興条例に基づき、地域交流センターを拠点とした文化活動を育成し、市内のさまざまな文化活動との連携を図り、地域交流センターの事前PRを図る。 ・大阪センチュリー交響楽団と学生や市民楽団等との共演による、多彩なふれあいコンサートを開催。 ・文化・芸術活動振興のための講演会等（文化振興記念フォーラム）の開催（市民会館）や寝屋川市駅前でミニコンサートの実施。 ○地域交流センターを拠点とした文化活動を育成し、市内のさまざまな文化活動との連携を図り、市全体としての文化・芸術の一層の振興を図っていく。 ・多目的ホールにて、プロ、アマ、市民による芸能・音楽等多岐にわたるオープニングイベントを開催し、市民に鑑賞し出演する機会をもち、地域交流センターの周知を図る。 ・地域交流センターを拠点とした新たな文化・芸術活動や企画事業を推進する。 ■小学校図工作品展、中学校美術展 ○市内小・中学校と連携して、地域交流センターを活用し、駅周辺を中心とした文化創造活動の充実と集積をめざす。 ・地域交流センターを含む駅周辺施設などを利用しアートメッセ寝屋川（寝屋川市小中学生図画工作・美術作品展）を開催。												
まちづくり活動推進事業/にぎわい創出事業	■CGを活用したまちのプロモーション ○本計画区域内に教育施設が設置される予定の大阪電気通信大学との連携を図り、大学の持つノウハウをまちづくりに活用する。 ・大学連携・学生参加のもと、寝屋川駅前線沿道や再開発事業後の空間活用などをテーマによるまちのプロモーションを作成する。 ・作成したCGを地域ポータルサイト「ねがいわ元気」で発信し、新しいまちのPRとともに、WEBアンケートを実施し、まちづくりへの市民参加の機運を醸成する。 ■まちなか回遊イベント ○寝屋川市駅東地区の新しいまちを積極的に内外にPRするとともに、計画区域内のにぎわいの創出を図ることにより、今後の協創のまちづくりへの機運を醸成する。 ①市民参加型イベント・・・地域交流センターや市立市民会館等で、多くの集客が見込める魅力のある市民参加型イベントを実施することにより、多くの方に寝屋川市駅東地区を中心とした新しいまちを知っていただく。 ②商店街等連携イベント・・・寝屋川せせらぎ公園での「（仮称）スタンド・カフェ・バー」を中心に、地元商店街等と連携し、寝屋川市駅周辺の回遊性を高める。 ③イルミネーション・イベント・・・市民参加による、イルミネーション・イベントを実施する。 ■まちはらきイベント開催 ○寝屋川市駅東地区のまちはらきと市制施行60周年を記念して、文化創造の端緒として市民の一体感を醸成するとともに、新しいまちについて積極的なパブリシティを図るため、まちはらきイベントを開催する。 ①地元商店街等との連携・・・・・・地元商店街等との連携により、寝屋川駅前線沿道のにぎわいを創出し、今後の協創のまちづくりへの機運を醸成する。 ②まちなか水族館・・・・・・環境教育を行い、にぎわい創出を図るため、「移動水族館」を開催。また、「すみみ町立エビとカニの水族館」の協力を得て、友好都市交流を推進する。 ③記念パレード・・・・都市計画道路寝屋川駅前線において、市民参加型の記念パレードを実施する。 ④市民パフォーマンスステージ・・・・寝屋川駅前線に隣接する市立中央小学校において、記念パレードと連動させ、市民パフォーマンスステージを実施する。 ⑤蛸かご制作ワークショップ・・・・ストローを編みこんでかごとを作り、その中に蛸に見立てたLED電球を入れる、蛸かご制作ワークショップを開催する。 ⑥イルミネーション＆コンサート・・・・市民の方が、ワークショップで作成した蛸かごとを、「寝屋川せせらぎ公園」でのイルミネーションに活用する。また、学生によるウィンターコンサートを同時開催し、イルミネーションのPRとにぎわいの創出を図る。	市		H21	H24	29.2	29.2				・CG作成等実施経費 ・インターネット発信経費 ・イベント開催経費 ・イベント運営経費 ・各種イベント実施経費		
地域創造支援事業／図書館	■図書館 ○「図書館づくりは、まちづくり」というコンセプトのもと、駅前に図書館を設置し、生涯学習機能の充実と市民が交流する場の提供することによりいきいきと市民が学び、暮らすカルチャーゾーン（まち）を創出する。 ○駅周辺利用者を想定した開館時間や図書・ネット情報の閲覧ブース等、多目的に使用可能なギャラリースペース、子育て情報・地域情報を集約し市民の交流を促す施設、お話し室や読み聞かせシアター等の機能を有する。	市	1,125.79㎡	H24	H24	360.0				210.0	150.0	・財産取得費 ・改装工事費	

高次都市施設

■地域交流センター、観光交流センター、まちおこしセンター、子育て世代活動支援センター、複合交通センター

(単位:百万円)

[illegible]

■人工地盤、立体遊歩道

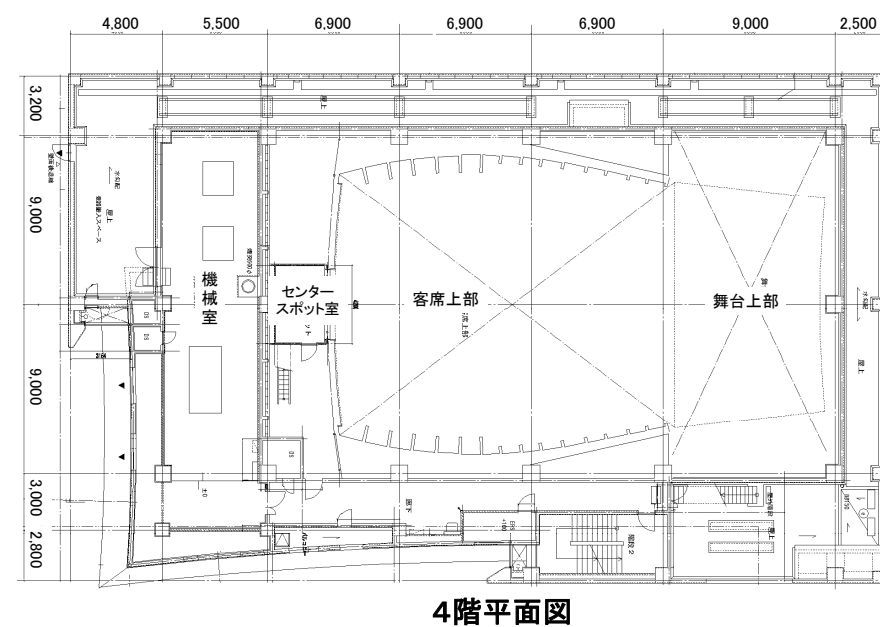
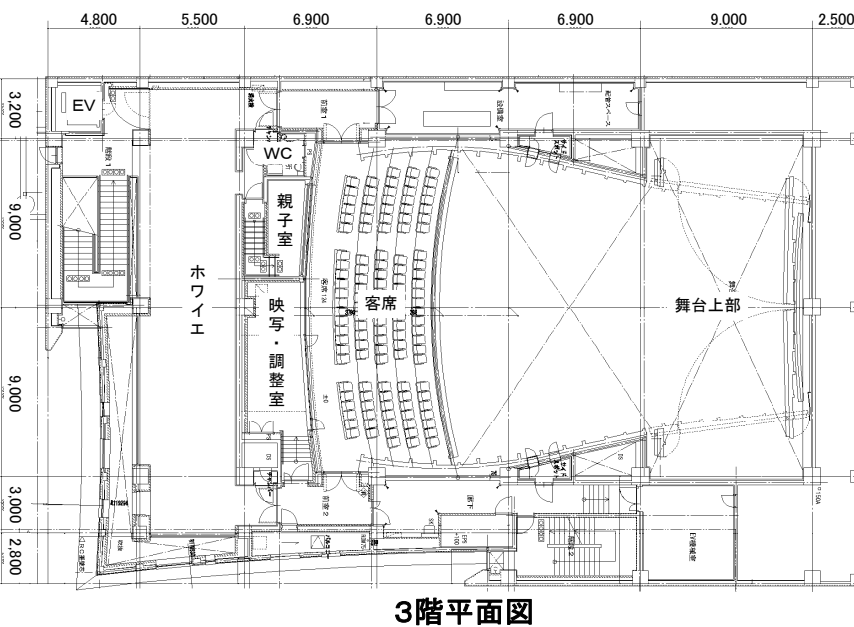
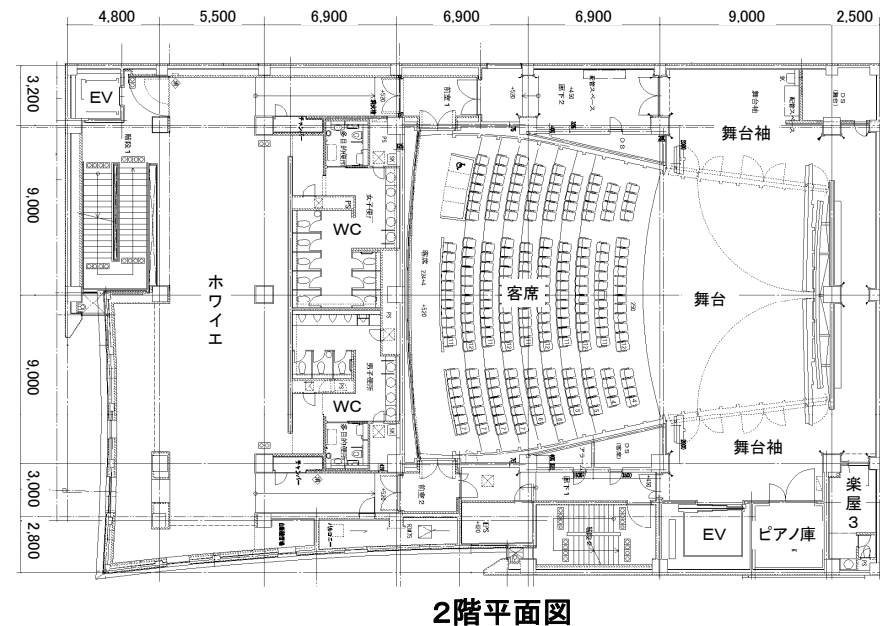
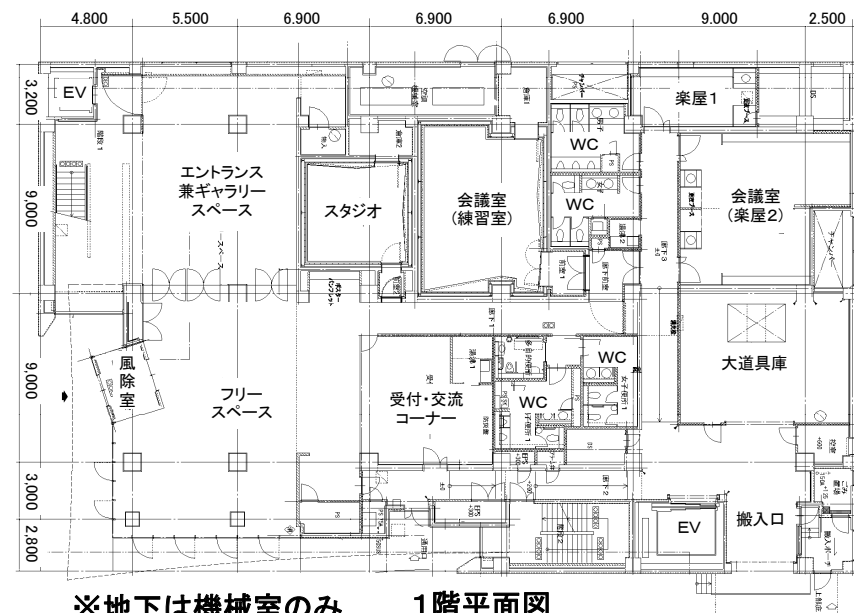
(単位:百万円)

[illegible]

高次都市施設(地域交流センター)



高次都市施設(地域交流センター)



高次都市施設(地域交流センター)

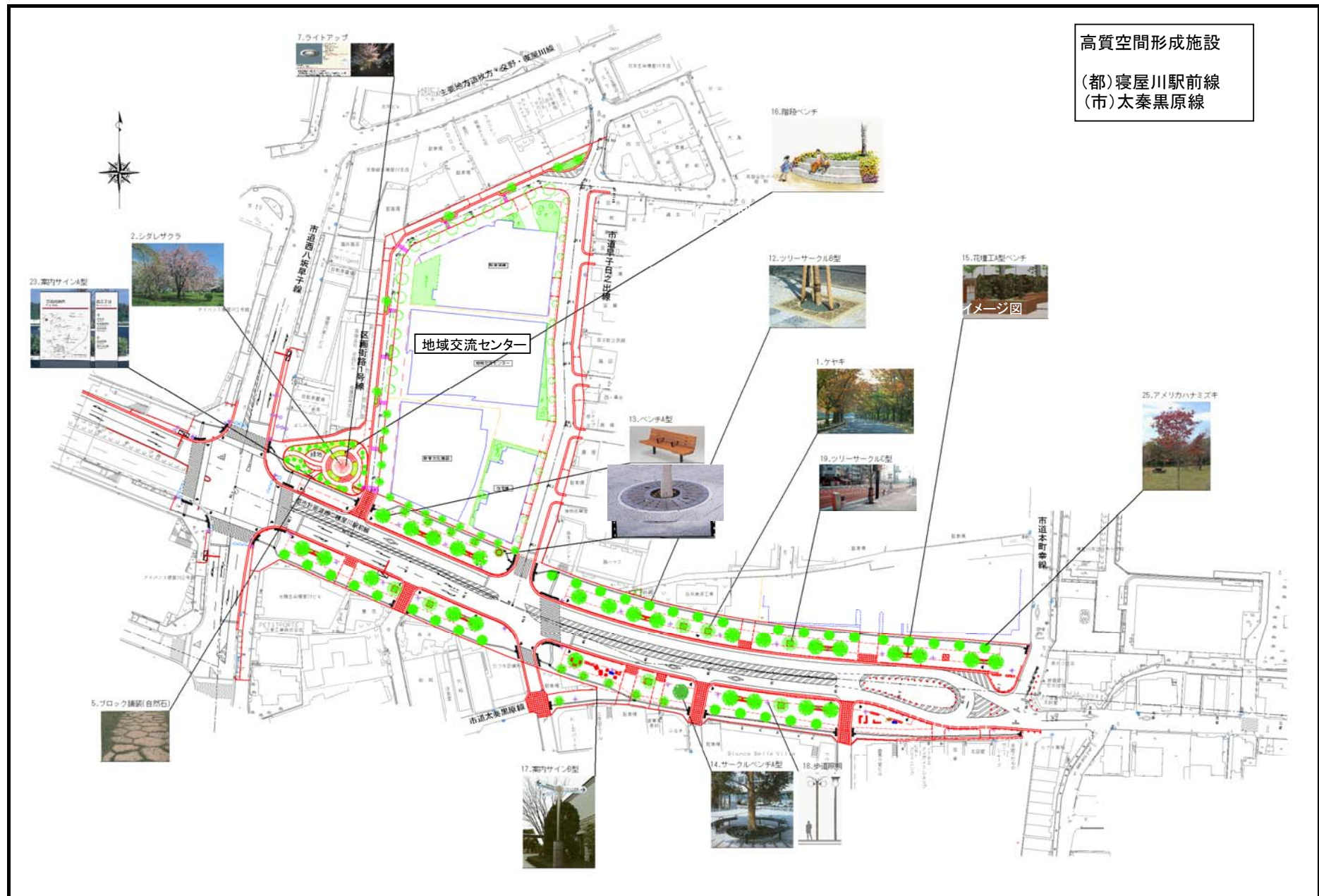


高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	(都)寝屋川駅前線 (市)太秦黒原線	市	複合ベンチ兼植樹柵:10か所 サークルベンチ:1基 ベンチ:2基 階段ベンチ1式 シンボル樹:1本 高木:76本 歩道用照明灯:21基 緑地植栽ライトアップ:1式 ツリーサークル:52基 案内サイン 1式 ブロック舗装 1式	119			119	寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業により寝屋川市駅東地区再開発会社が整備する寝屋川駅前線の整備費について、本交付対象施設も含め管理者である市が負担金を支払う。
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等								
合計	—	—	—	119			119	

高質空間形成施設(緑化施設等)



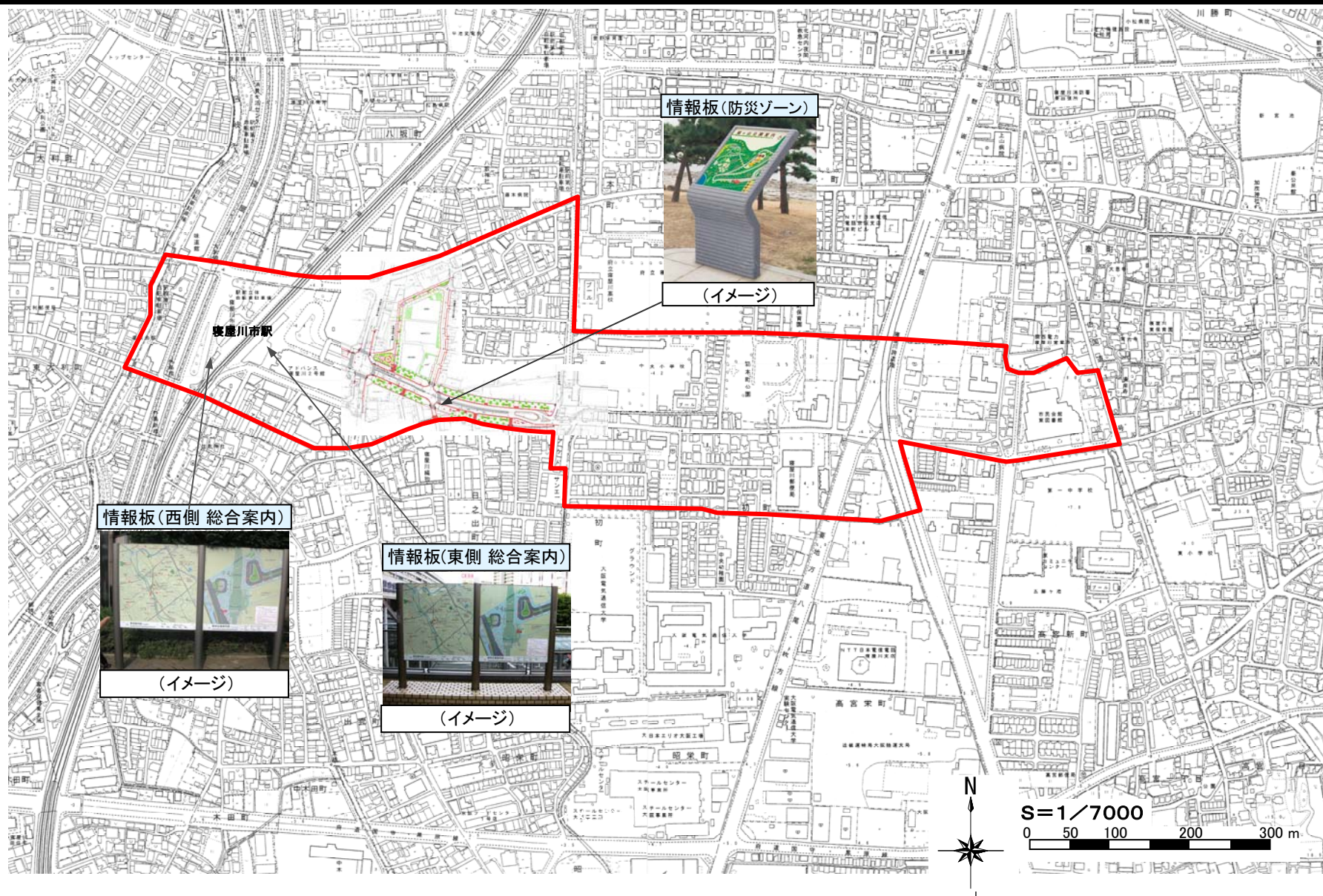
地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地								—	
広場								—	
駐車場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板	情報板設置事業	市	情報板	0.8			0.8	—	
地域防災施設	施設種別:防災空間	市	①防災用トイレ ②ソーラー付 青白色LED照明灯※機器は 寄付 ③かまどベンチ等 ④防 災井戸、ポンプ施設	12.2			12.2	—	
合計	—	—	—	13			13		

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

地域生活基盤施設(情報板)



地域生活基盤施設/安全・安心創出事業（災害時における空間活用（街角防災スペース））

かまとベンチ



防災ポンプ



収納ベンチ



防災トイレ

